

8-4-25 社会マネジメント技術委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

社会マネジメント技術委員会を4回（6月、9月、12月、2月）開催した。

社会マネジメント技術委員会を開催しない月もメール等を活用し、上位委員会から依頼される検討事項や傘下の専門委員会に関する情報交換を実施した（専門委員会・WGの月次報告・イベント報告、統括技術委員会・技術部会の審議・指示事項の周知・対応等）。

(2) 専門委員会の事業内容等について

本技術委員会は、新たな枠組みとして令和元年度が初年度として開始されたことから、傘下の専門委員会における今までの事業内容の見直しを依頼した結果を示す。

- a) 都市計画専門委員会：若手育成を主眼としながら、基本的には現在の取り組みを継承。
- b) 参加型計画専門委員会：事業化に際しての様々な資金調達にも踏み込んだ検討をしていくようにしたい。
- c) 政策・事業評価専門委員会：MaaS やスマートシティ等の今後の新たな動きについてキャッチアップしていきたい。
- d) 環境専門委員会：年6回の開催、歩掛の作成やランドスケープ、エネルギーなどの委員会の中で取り組みも考えてみたい。
- e) 施工管理専門委員会：継続して実施しているアンケートの経年比較もあるため、基本的に現在の活動を継続していきたい。
- f) 国土情報専門委員会：AIを活用したビッグデータ等に着目した検討などを考えている。
- g) 自動運転WG：社会マネジメント技術委員会から新メンバーが加入し、引き続き建設コンサルタントの市場形成動向に注視が必要なことから、基本的には現在の取り組みを継承。

(3) 個別検討テーマへの対応

統括技術委員会からの依頼事項の中で主な検討内容について以下に示す。

- a) 計画系業務のスケジュール管理表の運用
計画系業務の生産性向上を目的に、平成31年4月から運用開始となった「計画系業務のスケジュール管理表」の活用状況や課題などについて検討した。
- b) 2カ年国債の活用方法の検討
2カ年国債の適用が業務の平準化の観点で望ましいと考えられる業務種類を整理した。
- c) NETISのテーマ設定型の提案
国土交通省「NETIS」のテーマ設定型（技術公募）の「技術テーマ」として、技術開発の市場ニーズやシーズから今必要とされる技術について検討し、当技術委員会から推薦した中では「環境DNA」が残った。
- d) プロポ拡大方策
斜め象限図の運用における現在の課題について実際の特記仕様書を収集して整理した共に、主には都市事業の斜め象限図の修正案と発注現場で分かり易く使えるような「チェックリスト案」を作成した。
- e) 令和元年東日本台風の活動記録
令和元年東日本台風（台風19号：10月12日に上陸）の豪雨災害に対する建設コンサルタントの活動内容の広報を目的に活動記録を作成した。当技術委員会ではその中でも「情報提供や避難行動」に関する提言内容を作成した。

2. 次年度の活動について

社会マネジメント技術委員会として令和元年度から始まった本事業を引き続き実施する。

- ・事業計画に基づく技術委員会の定例的活動
- ・技術委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討、特に統括技術委員会等から依頼される各種検討事項等への対応
- ・技術部会からの指示事項の検討・傘下の専門委員会から要望の検討、上位機関への上程

（社会マネジメント技術委員会委員長

篠崎 毅）